

【会議要旨】遠浅小統合に関する返答会（7/14）

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 1 日時 | 令和3年7月14日（水） 18時30分～20時00分 |
| 2 場所 | 遠浅小学校 体育館 |
| 3 出席者 | 39名（保護者・地域20名、学校3名、その他9名、町教委7名） |

趣旨について

- ・遠浅小保護者説明会を6月2、4日に実施
- ・6月25日には町民センターにて3地区合同検討会を開催
- ・3地区合同検討会において、遠浅地区は改めて会合の場が必要とされ本日の返答会を開催。

教育長挨拶

①事前調査について

- ・事前調査として意向確認を実施した。はやきた子ども園年長、年中を含む、4年生以下の世帯を対象
- ・結果については後程説明するが、義務教育学校に通わせたいですか？そのまま遠浅小がいいですか？という問い。その他は自由記載で数問設問させていただいた。
- ・調査を実施した結果、ご提出いただいた方々には感謝。率直な質問をいただいた。
- ・再編問題に関わらない問題に対するご提案もいただいた。教育委員会として真摯に向き合っていきたい。意義深い調査であったと感じている。
- ・今日は返答会。いただいたご意見、ご質問に対し回答していきたい。

②学校建設工事について

- ・工事が7月に開始された。
- ・現在は伐根等作業が中心となっているが、R4年10月までには新校舎が完成する。
- ・R5年2月頃からは2期工事として早来小学校校舎の解体工事等が始まる予定。
- ・R4年度の3学期から早来小中学校の児童生徒が新しい校舎へ移る。冬休み中に引越し作業が開始される。

③総括

- ・今日は、統合や義務教育学校についてよくわからないというご指摘の部分を中心に、しっかり説明させていただきたいし、書き漏れの部分もお聞きいただければと考える。

説明 ※説明内容記載省略

- ①義務教育学校について ②意向確認書について

以下、質疑内容 【凡例 ～ ○：質問（参加者） ●：回答（教育委員会）】

①義務教育学校について

○：1から9年生、1クラス何人くらいか？中学校は1クラスか？

●：30から40人程度と考えている。現在中学校は、多くの場合1クラスを想定する。

○：将来的に30から40人で推移するのか？2クラスになる場合は、どういった対応か？

●：今の試算だと、一部の学年で2クラスの可能性はある。ただ、従来の教室より広い設計。分割する場合もあり得る。

○：現在日本では40人から35人へ減らす方針と思うが？また将来推計の把握はされているか？

●：1～2学級となるのが実態である。現在の小学2年生がちょうど40人となり最も多くなる。他学年は、35人を超えない見込み。国が定める義務標準法では、1年生だけが少なく設定されているが、都道府県で裁量がある。道は1～2年生が35人、R7年度までに段階措置で進み4年生まで35人となる見込み。年度の進展により、場合によってはこの段階措置に係る場合もありうる。転出入等不確定要素もあるため、断言はできない。

○：メリット・デメリットがあると思う。教育委員会は、メリットを多く説明しているが、デメリットはどのような点にあると考えるか？

●：1人ひとり主役になる場面が減る。異学年交流も少なくなる。儀式的行事について、9年間の見通しを立てることから、小学生の卒業式的な部分がなくなる等の変化もある。国が示す内容としては、メリットの多さが指摘されている。人数が多くなることがメリットとして捉えられている。行事関係も、全般的にデメリットが少ないという見方が強い。

○：行事のデメリットは少ないとのことであったが、運動会について遠浅小では昔から全校でやるが多かった。早来小はどうか分からないが、義務教育学校になるとどうなるか？選ばれた人しかできないということにならないか？

●：早来小の詳細を把握しているわけではないが、例えば鼓笛を実施する等の判断は、各校長がする。教育課程を編成する過程で、それらの実施が適切かどうか判断されている。例えば鼓笛の祭り参加は、時数確保等の観点から止めたという経緯・実例もある。これをメリットと捉えるか、デメリットと捉えるかは、各校で判断されるものとする。人数に応じたできる種目の選定等の検討がなされ、深く・楽しく勉強できる環境が提供されると考える。

○：学芸会について、自治会女性部でお年寄りを連れてくる等の活動を実施してきた。遠浅小が閉校するとこの取り組みがなくなることから、地域としてはデメリットと考えている。

●：地域から子どもたちの声なくなるということを懸念する声は、以前から出されている。地域の活動の中で補っていただきたいと考えるが、具体的にどうしてほしいということはこちらから言えない。遠浅小だけが地域との連携が強いというご発言が多いが、他の小学校でも同様なものがある。安平町は、以前からその点が非常に優れていると考える。地域の方に支えられているという点は、どの学校でも変わらない。これら学社融合が強いという点が、安平町の強みであり、未だ形骸化していない町ではないかと考える。これからも、地域の繋がりを感じていただける教育課程の編成を望んでいる。何もかも一新されるというイメージが強いかもしれないが、全く真逆の教育が提供されるとい

うことではない点を承知いただきたい。

②意向確認書について

- ：統合を遅らせることができないのか？の部分で、スクールバスや教員等様々な要素を挙げていることもわかるが、逆に言えば遠浅小を無くす前提ではないか？
- ：中学校の再建に伴って、新しい学校へ行きたいという要望が出てきたことで、そうなるとう遠浅小は規模が小さくなってしまうことになるのであれば、統合すべきという判断プロセスとなっている。意向確認結果をみていただくとわかるとおり、半分の方が移りたいという意向がある。

- ：半数が新しい学校へ行きたいとなることは最初から予想できなかったのか？そのせいで混乱しているのではないか？
- ：選択制は、保護者の責任でやっていただく制度。早来小まで自身で送迎等してまで通学するという方が多くなるとは想定していなかった。選択制についてアンケートを実施したところ、今回の統合に関する結果と同様の結果（半数程度が希望）となったため、統合へシフトした。ご指摘のとおり、見込み違いが全くなかったかと言えばそうではない。掴み切れなかったのは事実である。

- ：義務教育学校が素晴らしい学校であるという資料が出ているが、北海道で何故増えていかないのか？
- ：小中一貫という形態がある。追分は既にH30年度から実施しているため、義務教育学校と同じ小中一貫となる。義務教育学校のように一つの組織の中でやるものと、小中2つの組織をそのままにやる形態もある。国の行ったアンケートで現れた結果として、多くの教員が義務教育学校の方が良いと出ている。施設隣接型等だとその割合は大幅に減少する。同じ空間にいた方が良いという結果が数字で明らかになったということ。現町長が町長選での選挙公約で選択制を掲げたが、早中再建等の検討プロセスを経て統合の方が適切だろうとシフトしてきた流れ。義務教育学校は、2校建てるのと同じような事であるため、予算が非常にかかることから、どんどん増えるという状況には直ちにいかないと考える。義務教育学校は小規模の学校が実施するというイメージが多い。100人に満たないところがほとんど。一方で人数も多い統合もある。国の特例でS60年代頃からスタートしたが、制度としては正式にH28年度からスタートしているという意味でも、既存特例校が正式制度に全て切り替わるものでもない。これらを背景に、設置数としては伸びしろがあると考えている。

- ：教育委員会へお願いしたいことは、親は子に対しよい環境を提供したいと考えるため、環境が変わることに対する不安を想像していただきたい。
- ：保護者が親身に考えていると想像している。ただし、現段階で何らかの判断をしなければならない状況である。教育委員会として責任をもって考え、判断していく必要があるため、今回こういった場を設けている。

- ：意向確認の返答会ということであるが、遠浅小は閉校と捉えていいか？話の流れ的にそう言われている気がする。7月30日までには決まるということか。
- ：今日の会議は、冒頭で義務教育学校について説明させていただいたのも、これまでの教育委員会の

反省点を踏まえ、皆様にご理解をいただきたい点に重点を置いたものである。当然、これまでのプロセスを踏まえれば、統合を前提と置いていると言われればその通りである。今日の様子も含め、7月30日までに決定する予定である。

①・②の内容に関わらない全般的なもの

○：今日の会議について、教育長から自治会長あてに案内文が届いた。住民の方も呼びたいと書いてあるが自治会長だけに送ったとしても一般の方には知れないと思うが、どこに送付したか？告知の方法が不足している。

●：自治会長以外では、保護者（遠浅小・はやきた子ども園）宛てに送付した。他の方へ通知を依頼する形を以前採っていたが、今回は抜けていたためお詫び申し上げたい。

○：今後どのように会議を進めていくか？

●：日程は決めていないが、下旬にもう一度この場で開きたい。今回いただく内容次第で考えたい。今回結論が仮に出たとしても、それを伝える場も必要であると考えている。

○：早来小で勤務する、遠浅小コミスク委員である。その中で感じたのは、今月から工事が開始されたが、現在置かれる早来中の現状は厳しい。体育館やグラウンドの時間調整など、雨がちょっと降っただけでも大変。教頭等が大変苦勞している。気温も上がってきて、仮校舎だと日差しが厳しく暑い現状が続くため早く建ててあげたい。

義務教育学校で最も懸念するのは、人間関係の固定化。生徒指導を強化しないと厳しい面が出てくる。子ども園を含めると12年間同じ人間関係の中で生活することから生じる問題もある。これら懸念材料に対して多くの先生方で対処し、解決していただきたい。人数が少ない学校としての良さはあった。現在の遠浅小では、関係がこじれないように配慮してきたところがある。

様々な背景があってこの話を皆でしている。論点は、その背景を想像できるか？ということにあると考える。それが想像できれば、どこかで折り合いがつくと信じているし、期待している。（要望・意見ということで回答不要）

その他

・地域への配布、通知方法については、別途自治会へ相談させていただきたい。

20:00 返答会終了